

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	特色ある学校づくり支援事業	所管	教育委員会学校教育課 学校教育課
			TEL 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	市立幼稚園・小・中学校が、特色ある教育活動を展開し、心豊かなたくましい幼児・児童・生徒の育成を目指す。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市立幼稚園(2園)、市立小・中学校(47校)	対象とした数	49	校・園
		実際に 利用した数	49	校・園

活動の内容	(何を したか)	<p>○各幼稚園・小・中学校が、創意工夫を凝らし、地域の特性を生かした活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実績と当該年度の計画を元に、各学校・園の特色ある学校づくりを支援する事業委託料を配当する。 ・年度途中に、事業の進捗状況を把握するヒアリングを行う。 ・年度末に、事業の結果報告と次年度の計画についてヒアリングを行う。 ・各校・園からの事業報告をまとめ、「特色ある学校・園づくり支援事業報告書」を作成し各校・園、関係機関・部署へ配布する。 							
	活動実績	項目名	報告書提出数	49	項目名	1校・園あたりの平均 配当予算額	312	項目名	特色数
			単位 枚			単位 千円			単位 種

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	16,108	16,108	20,335	60.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	個別学校特色率	プログラムの種類÷学校数 (学校・園個々の特色がでているか)	100	100	100.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238					
事業コード	130113		特色ある学校づくり支援事業								
開始年度		平成	13	年度	—	終了年度	平成	年度			
総計画の体系		政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち		施策	2節 学校教育		中柱	2 教育環境の充実	小柱	(2) 特色ある学校づくりの充実

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	特色ある学校づくり支援事業実施要綱				
	関連・類似事業					
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位				
事業開始の背景	教育の地方分権の趣旨を生かし、各学校地域の環境や人材を活用した教育課程の編成とともに、創意工夫を凝らした教育活動を展開するために開始した。					

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	市立幼稚園・小・中学校が、特色ある教育活動を展開し、心豊かなたくましい幼児・児童・生徒の育成を目指す。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市立幼稚園(2園)、市立小・中学校(47校)						
	対象数	単位	平成 18 年度	49	校・園	平成 19 年度	49	校・園
	事業の具体的な内容及び実施方法	<p>○各幼稚園・小・中学校が、創意工夫を凝らし、地域の特性を生かした活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の実績と当該年度の計画を元に、各学校・園の特色ある学校づくりを支援する事業委託料を配当する。 年度途中に、事業の進捗状況を把握するヒアリングを行う。 年度末に、事業の結果報告と次年度の計画についてヒアリングを行う。 各校・園からの事業報告をまとめ、「特色ある学校・園づくり支援事業報告書」を作成し各校・園、関係機関・部署へ配布する。 						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
年度当初の学校管理訪問及び指導担当訪問等の機会を活用し、地域との連携などの一層の推進について助言・支援を行なった。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		16,063	16,108	16,149
	決算(見込み含む)		16,005	16,108	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
	正規職員人件費	0.40 人	3,680	0.45 人	4,227
	公債費				
	事業費合計		19,685	20,335	
	財源内訳	一般財源	19,685	20,335	16,149
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	58.3	60.0		
	利用数一単位あたり(単位:円)	401,734.7	415,006.1		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	報告書提出数	単位	枚	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	1校・園あたりの平均記当予算額	千円		49	49	49		
	特色数	プログラムの種類数	種		311	312	311		
	成果分析	個別学校特色率	プログラムの種類÷学校数(学校・園個々の特色がでているか)	%	49	49	49		
					目標値	100	100	100	
					実績	100	100	実績値の拡大を図る1	
					%	達成率	100.0	100.0	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性	
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	明らかとなった課題	地域の特性を活かした学校・園づくりは、学校関係者などから高い評価を受けているため継続する。地域の人材活用も進み、特色ある教育活動を進める大きな力となっている。今後は、学校・園の教育力等を地域へ還元する機会をさらに増やすなどの工夫も必要である。						
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)					
	平成20年度における目標設定	年度途中及び年度末のヒアリングに加え、学校訪問等の機会を活用し、各校・園の事業の進捗状況の把握を進める。	各学校・園の特色ある取組を校長会等を通して周知するとともに、学校の要請に応じた助言・支援を行なう。	平成21年3月				
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	現在、各学校・幼稚園は、特色ある学校・園づくりを運営の中心的事項として推進している。また、各学校の特色ある学校づくりは、学校評議員や保護者、地域からも高く評価されている。今後は、教職員の意識を高め、学校・園を活性化し、市の教育の目標を達成するために本事業の推進を図る。						
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	学校教育課長	内野	正行		

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了
	事前評価	部内優先順位… 15 位	非常に高い 高い やや低い 低い
	優先度評価	見込まれる貢献度	総合計上位目標 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	評価理由	現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			<input checked="" type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
			<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	現状の予算内で「引き続き実施」すべきと評価する。事業の成果・効果について学校関係者以外に対して十分な説明・説明がされているとは言えず、平成13年度から実施されていることから、今後は事業のあり方について根本的に検討すること。	
	評価日	9月1日	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1114
	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	子どもたちの知識・能力の育成		
	施策の方向	1豊かな心と健やかな身体の育成		